

[補足資料] マネジメントにおける幹部の努力姿勢

1. 哲 学
 - (1) 科学として経営を扱えること = 数字を観察し、因果関係を明確にする
 - (2) ドライ商法 = 最も影響力の大きい（立ち遅れた）部分 = Basicから取り組むこと
 - (3) よいシステムになるようなキマリを決められること
2. 前提条件
 - (1) プロジェクト（主題）が明白なこと
 - ・やろうとするプロジェクトについて曖昧なことが多い
 - ・方法がなりゆきに任せやすい
 - (2) 結果の数値が変化したことによって評価すること
 - ・願望で自己弁護しやすい
 - (3) 客が受け入れたかどうかを最優先効果とすること
 - ・リピート客の増加を測定しなければならない
3. 絶対条件 = 絶対やるべきことと、絶対にやってはならぬことを、最初に明示すること
4. 方 向 = 継続できる → Output Management できる
 - ・急速成長組に共通な弱点
 - ・継続して3桁店数へ拡大できることによつてのみ、仕組みは前進する
 - ・そのためには、正しい標準化が必要である
5. ゴー ル =
 - ① 効率数値を向上させられる
 - ② よい状況を継続できる